

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510

TEL : 0838-21-7765

e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp

HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

## 平成 28 年熊本地震。被害と阿蘇ジオパーク被災の状況について

事務局長 福島康行

4月15日(金)、16日(土)夜に起きた平成28年熊本地震により、熊本県・大分県を中心に大きな被害が発生しました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。現地では、今なお余震が続く、多くの方が避難生活を余儀なくされています。萩市では被災された方々に対する義援金の受付を5月31日(火)までの間、萩市福祉事務所、各総合事務所、支所及び出張所の窓口で行っています。

今回の地震では、阿蘇ユネスコジオパークでも、阿蘇火山博物館や貴重なジオサイトが被災するなど甚大な被害に見舞われました。阿蘇ジオパーク推進協議会ではジオパークの復興に向けて、「阿蘇ジオパーク復興支援金」口座を開設しています。併せてご協力をお願いします。

平成28年熊本地震では、日奈久断層帯と有田川断層帯が活動したと考えられています。これらの断層帯は過去の活動等から近い将来に活動する可能性があると言われていました。

地震の予測は困難ですが、活断層や地盤の状況、過去の記録などから地震による被害を想定し備えることはできます。「大地の成り立ちを学び防災・減災に役立てる」ことはジオパーク活動のめざすものの一つです。萩ジオパーク構想でも、こうした取組みを行ってまいります。



(被害を受けた南阿蘇町内の道路)

銀行・支店名：肥後銀行 宮地支店  
口座番号：普通預金 口座番号：1419042  
口座名義：阿蘇ジオパーク復興支援金  
(アソジオパークフッコウシエンキン)

## 隠岐ユネスコ世界ジオパークフェスタ(4/24,松江)においてブース出展

去る4月24日(日)、鳥根県松江市のくにびき大展示場において、「隠岐ユネスコ世界ジオパークフェスタ」が開催されました。これは、ユネスコ世界ジオパークに認定された隠岐ジオパークが、隠岐諸島をPRするために開催(今年で3回目)し、同時に日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロックの活動として、9つのジオパーク推進団体等がブースを出展し、多くの方にジオパークについて理解を深めてもらう機会としたものです。当日は主催者発表4000人の来場で大変にぎわいました。

萩ジオパーク構想推進協議会からは、久保隆・地域振興部会副会長と事務局員2名が参加、写真パネルを複数枚掲示し、興味のある方に写真の説明やリーフレット等を配布しました。また、各ジオパークの担当者が映像紹介などを行うジオパークシアターでは、萩のプロモーション映像の上映と伊藤靖子事務局員による解説を行いました。



(萩ブースでの力が入った説明)

## 第2回JGNガイドフォーラム参加者募集

伊豆半島ジオパーク推進協議会から全国大会関連事業として、「ガイドフォーラム in 伊豆半島ジオパーク」(主催：伊豆半島ジオガイド協会)の募集案内がありました。6月4日(土)・5日(日)、静岡県伊豆市の「ホテル・ワイナリーヒル」で開催されます。ワークショップや現地研修を通じて、ジオガイドのあり方や役割を学んでみませんか? 参加希望の方は、事務局まで連絡を。電話 0838-21-7765

## 〈報告〉萩ジオパーク構想推進協議会定期総会が開催されました

5月12日(木)、午後3時から萩博物館において、推進協議会の定期総会が開催されました。会議では、この度の市組織・機構の改編に伴う規約改正、平成27年度事業報告及び収支決算、平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)の3件の議題について審議が行われ、それぞれ原案の通り承認されました。

今年度は、日本ジオパーク認定に向けて、5月21日(土)に新規認定のためのプレゼンテーション審査に参加し、7~8月には現地での審査に臨みます。現地審査では、ジオパーク活動の状況が大きな評価ポイントとなります。引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 〈訃報〉 永尾隆志 先生 (元 山口大学大学院教授、萩ジオパーク構想推進協議会学術顧問)

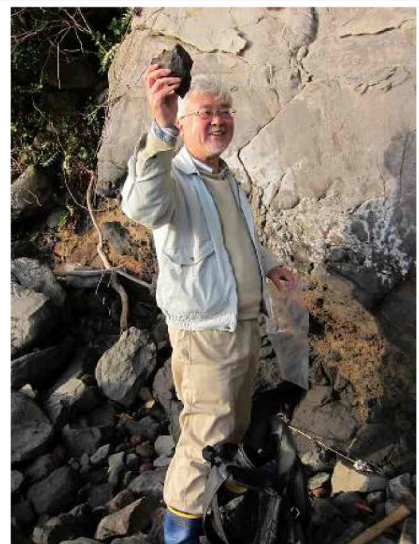
当推進協議会学術顧問の永尾隆志先生が、4月30日(土)逝去されました(享年69歳)。先生は、火山学、岩石学、地質学がご専門で、山口県の火山の形成史とマグマの成因などを研究されました。先生と萩市のかかわりは深く、萩博物館建設準備のころ(2002年)にさかのぼります。阿武火山群の1つ、「笠山」の岩石を材料とした研究論文に関する問い合わせがそのきっかけでした。研究成果を広く体験的に知ってもらう活動(アウトリーチ活動)に興味をお持ちだった先生に、萩博物館の常設展示や子ども対象の普及活動などにご尽力をいただきました。

2006年、伊良尾山麓の広域農道の工事現場で、伊良尾火山の噴出物が降り積もった地層が発見され、2008年イラオ火山灰層観察施設という形で、一部分ではありましたが保護されることになりました。伊良尾火山の火山活動により形成された地形を楽しむ「龍が通った道」の名付け親であり、壺ヶ淵交流事業実行委員会の求めに応じ、交流イベントでの講演や地元の皆さんとの学習会の講師を務められました。講義を受けられた皆さんは、先生が分かりやすく伝えることに苦心しておられた様子を、よくご存じのことと思います。

2007年、日本におけるジオパークの動きが始まり、いち早く山口県におけるジオパーク活動の取組みを働きかけられました。本来ならご自身の研究の集大成をされる時期に、自然教育の普及や萩ジオパーク構想推進に尽力され、志なかばで病に倒れました。萩の自然のすばらしさを多くの方に知ってもらいたい、その場が萩ジオパーク…。先生のご遺志を継いで、一緒に頑張っていきましょう。

永尾先生、本当にありがとうございました。

(写真右上：発見した狐島のスパタを手に、  
右下：子どもたちとのワークショップで)



## 6月の予定

○山口県立山口博物館 地質めぐり(須佐・田万川地域の地質) 6月19日(日)、13:00~16:00、定員26名、(要申込み) 申込み方法:「メール」または「往復はがき」で。詳細はWebをご覧ください。

○ミュージアムキッズ! 全国フェア 6月25日(土)、14:00~19:00、6月26日(日)、10:00~15:00、会場:仙台市